

国際規格ISO15189を取得した衛生検査所です



弊社で使用している便潜血測定機器

便潜血検査

便潜血検査とは、便に血液が含まれているかどうかを調べる検査です。

便潜血が陽性となった場合、おもに大腸癌や潰瘍性大腸炎などが原因の下部消化管出血が疑われます。

自覚症状のない発症初期の微量な出血も検出できるため、

早期発見・治療につながる大切な検査です。



基準範囲・カットオフ値

便潜血（定性）の基準範囲は 陰性（－）

便潜血（定量）のカットオフ値は 120ng/mL未満
※カットオフ値は検査施設により異なります

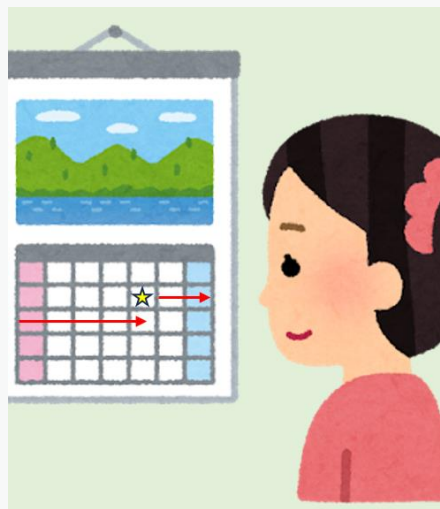


Close-up 便潜血検査

便潜血検査は、採便方法や採便後の検体の状態によって結果に影響を及ぼす場合があります。

便潜血検査に影響する事象や採便時・採便後の注意点について簡単にご説明いたします。

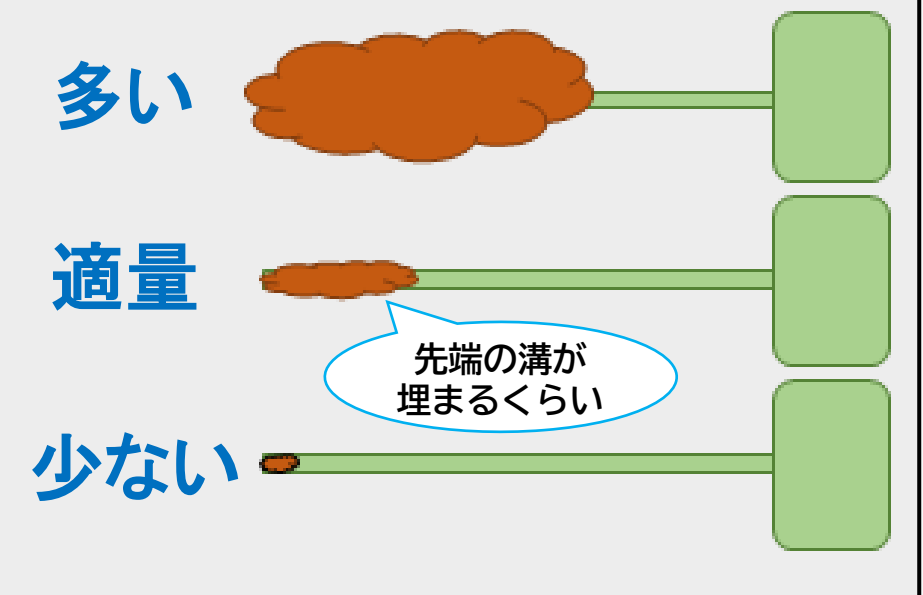
採便日から時間が経つと…？



当施設では採便日から**1週間以内**に検体を提出するようお願いをしています。採便から時間が経つと、便中の血液成分が壊れ、偽陰性になってしまう恐れがあります。

排便の間隔が長い場合は後日提出するなど、2日分ともに採便日の1週間以内に提出するようお願いいたします。

採便時・採便後の注意点



便潜血検査は排便の際に便の表面に付着した微量な血液を検出する検査です。

そのため採便時は便に採取棒を突き刺すのではなく、便の表面をまんべんなくこすり取るようにしましょう。

また、採便量により検査結果に影響が出るため、適切な量を採便することが大切です。



採便後は容器のキャップをしっかり閉め、直射日光の当たらない涼しいところに保管しましょう。冷蔵庫がベストです。

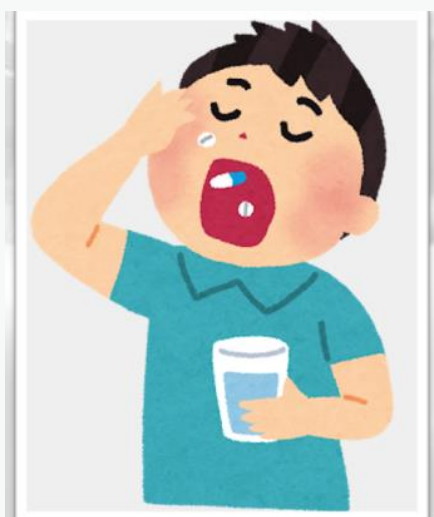
高温保管すると便中の血液成分が壊れ、偽陰性になってしまいます。

鉄剤の影響について

貧血の治療で用いられる鉄剤を服用すると、薬の影響で便の色が黒くなることがあります。

当施設の便潜血検査は便中の血液成分「ヒトヘモグロビン」を特異的に検出しているため、検査結果への直接的な影響はありません。

鉄剤を服用されている方でも安心して検査を受けられます。



Key Point

便潜血検査は大腸癌の早期発見・治療につながる大切な検査です。

検査を受けられる方の検体の採取・取り扱いが検査結果に影響するため、上記であげた注意点に気を付けましょう。便を採るところから大腸癌検査は始まっています。

1日分のみならず、2日分の便潜血検査を受けることで検出感度を高めることができるため、2日分の検体を提出することを推奨いたします。

同じ便で2本分採らないでね！



<お問い合わせ先>

検査に関するお問い合わせ、ご要望は下記連絡先にご連絡ください。

〒471-0821 愛知県豊田市平和町1-62

TEL：0565-25-3165（代）

FAX：0565-25-3166（代）

次回のテーマ

微生物部門より

「感染症」に関するらぼニュースをご案内予定です。

過去のらぼニュースは下記からご覧いただけます

会社ホームページ <https://www.goodld.com>

